

このたびは、弊社イカメタルロッドをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
イカメタルロッドは、小さなアタリを捉えるため、非常に繊細に作られています。
快適にご使用いただくために、下記の点に充分ご注意ください。

■ロッドを45度以上の角度で立てないでください。

イカメタルロッドは感度を最優先しているため、特に穂先部分は繊細に作られています。
ロッドを立てすぎると穂先に過度な負荷が掛かり、破損する可能性が高くなります。
具体的にはロッドを45度以上の角度で立てないようにしてご使用ください。
誘い上げた状態でアタリがあった場合は、ロッドをそれ以上立てずに「巻きアワセ」による
アワセをしてください。誘い上げ状態でロッドをあおってアワセを行うと破損リスクが非常に高くなります。
勢いよくロッドを立てるかたちでのアワセは避けてください。

■取り込み時にはロッドの穂先をできるだけ曲げないでください。

取り込み時に穂先を折るケースが多く見受けられます。手でラインを手繰り寄せる際、穂先が曲げられて
「逆しの字」になると高い確率で破損につながりますので充分ご注意ください。

■スッテ号数（スッテ重量）は、スペック表記以上のものを使用しないでください。

スペック表記以上のウエイトで使用すると、破損する危険性が高くなります。
必ずスペック表記以内の号数でご使用ください。

【メタルゾン TZ 使用上の注意点】

上記の注意点はどのグレードのイカメタルロッドでも当てはまるものですが、
さらなる高感度を追求したメタルゾン TZ における注意点もございます。

■チタンティップの反り・曲がりについて

メタルゾン TZ シリーズ内のチタンティップモデルは、ティップ部にチタン合金を使用し、
よりレーシング仕様を目指した限界の細さを追求しております。まれにクセや反りが発生する場合がございますが、
やさしく手で戻すようにして調整してください。また、手による修正より時間を要しますが、
トップガイドにラインを結び、もう片方のライン末端をどこかに結んでぶら下げる方法のほうが、
より安全に矯正することが可能です。
この方法ですと、ロッド自重による負荷で時間経過とともに徐々に矯正されます。
なお、強い巻き込みなどによる部分的な強い曲がりを完全に矯正することはできません。
強い曲がりは破損につながりますので、巻き込みをしないよう実釣時は最大限の注意をしてください。

■チタン素材の温度による特性変化について

チタンティップは低温環境下で弾性が低下します。3度以下の環境では弾性低下が著しくなり、
穂先機能を失う恐れがありますので、使用しないようにしてください。
気温上昇により、本来の特性となり通常の復元力に戻ります。

■キャストについて

メタルゾン TZ C510MH-K/TISL 及び C610ML-K/TISL の穂先は極端に繊細なため、
キャストでの釣りには向いておりません。糸絡みだけでなく、キャスト時に穂先が振動し、
それを繰り返すことで金属疲労を起こし、破損につながる恐れがあります。
バーチカル（真下に仕掛けを落とす）でお使いください。